

2010年9月15日 第36期 No. 6-411号

事務局 〒270-1143 我孫子市天王台3-7-1-201 和田三千代方 TEL 04-7183-1434

<http://www.abikoshi-syuhisyanokai.com/>

バス見学のお誘い

先月お知らせして、多数申し込んでいただきました。後4名の余裕があります。お申し込みは和田へ。

申し込まれた方はお忘れなく。

出発 9月28日(火) 9時10分

集合 我孫子駅北口ふれあい広場前

行先 茨城大学農学部生物生産科学科

スイートソルガムからバイオ燃料へ

新田教授のお話と圃場見学等

阿見町アウトレットで食事と市場見学

予科練平和記念館

費用 予科練平和記念館入場料 500円と
昼食代

高齢社会への対応を探る会の催し

10月2日(土) 13:00~16:00

けやきプラザ・ホール 別紙チラシ参照。

講演は社会保障審議会介護保険部会委員の結城康博氏(淑徳大学准教授)による「介護保険はどこまで役立つか」。私達の関心事、「死ぬまでにどの位のお金がかかるのだろう?そのうち、介護保険は?」という疑問がありますね。先生による具体的なお話が期待されます。

パネルディスカッションは「孤独死ゼロは見守りから!」というテーマです。

今年度、この会は「交流から見守りへ、見守りから交流へ」をテーマに、ご近所での交流や見守りを通して、我孫子での孤独死ゼロの活動を勉強してきました。

市内ではいろいろなグループや個人が、それぞれに工夫を重ねて実行していらっしゃる事がわかりました。すでに市内でも何件か

の孤独死がありました。

6人の方に、貴重な経験を語っていただきます。このお話を聞いて、自分はどうか、どの方式なら出来るかを、考えていただきたいと思います。待ったなしの対策が必要です。是非ご参加ください。

第14回手賀沼流域フォーラム

日時 10月9日(土) 13:30~16:00

会場 けやきプラザ・ホール

講演 コウノトリと人が共生するまちづくり

講師 佐竹節夫さん コウノトリ湿地ネット

代表、元豊岡市コウノトリ共生課長

なお10時からは「手賀沼賞 エコ・こども教室」が開かれます。

また、「よみがえれ手賀沼一生き物たちとともに暮らす街にー」として、下記の事業も行われます。

* 9月26日(日) 10:00~12:00 雨天中止

「親子自然観察会」手賀沼用水路で魚とり

申込み 7187-1704 松本

* 10月2日(土) 9:00~12:00 雨天は3日

「手賀沼の歴史景観を観よう」

申込み 7183-2014 梅津

* 10月2日(土) 11:00~12:00 雨天中止

「ぶらり川めぐり」募集先着20名

申込み 7184-5216 田口

* 11月21日(日) 9:00~12:00

「手賀沼親子探鳥会」

申込み 7185-0538 間野

10月定例会

10月4日(月) 13:30~16:00

我孫子南近隣センター8F 調理室

定例勉強会として「散骨を経験して」

安田久子さんにお話いただきます。

11月定例会の予告

11月1日(月) 13:30~16:00

我孫子南近隣センター8F 調理室

「身近整理のノウハウ」報告

9月13日の定例勉強会として、栗原洋子さんに、上記の題でお話いただきました。

裏面に栗原さんが作ってくれた11項目にわたってのノウハウと、何故身近整理が必要かが掲載されている新聞を印刷します。

残された家族の負担を少なくするために、そろそろ身近整理をしなければと考えている方は多いと思います。

私達は今まで、「もったいない」精神で生きて来ましたが、なかなか「捨てられない」人が多いのではないのでしょうか。まだ使えるものは喜んで使っていたところへ送りましょう。送料は自己負担になっても、物の命を生かす方法があります。是非、参考にしてください。

ここにも悪質商法が

上記のような私達の行動を知っているかのような、悪質商法の情報が国民生活センターから来ています。

「もう整理しようという着物はありますか？高く買い取ります」という電話(女性の声)があり、いくらかでもお金がもらえるならと、来てもらった。来たのは男性。着物を見せると、他に宝石はないかと聞くので、出して見せたら、着物5点と宝石箱ごと6万7千円で買い取られてしまった。キツネにつままれたような気分で後悔し、翌朝すぐにやめたいと電話したが、すでに手元にないと言われた、というものです。

こんな相談が多く寄せられているようです。このような買い取りの場合、クーリングオフは出来ません。充分ご注意ください。

千葉県消費者団体連絡協議会の 県民提案事業(せっけんを知る)

消連協の今年の提案事業は、せっけんを深く知ること、環境にも身体にもやさしい生活をしようというものです。1回目のせっけん工場の見学は人数がいっぱいですが、2回目の学習会は誰でも参加できます。是非ご参加ください。(3回目はいずれ記載します)

日時 11月15日(月) 13:30~16:00

場所 千葉県消費者センター(南船橋)

講師 長谷川治氏(太陽油脂 家庭用品部長)

「せっけんは環境にも身体にもやさしい!くらしに活かそうせっけんの良さを」

実験 ①歯磨き剤で味覚が変わる。なぜ?

②合成洗剤は皮膚に浸透する。どうなる?

質問に答える時間をとります。

長谷川治氏の著書から抜粋

合成洗剤の販売量は年平均100万トンにのぼります。100万トンというと2トントラックで50万台、東京ドーム3個分にも相当します。

日本の下水道普及率は69%(2006年)。合成洗剤の3割はそのまま水環境に捨てられていき、また、下水処理現場で処理されている7割も、十分に分解されないことが分かっています。

このままでは、河川にますます合成洗剤の残留量が増えるだけでなく、全国の湾や海の底にも蓄積されていきます。例えば多摩川では濃度が1~2ppmにもなっていると報告されています。この濃度は、メダカも住めないと言われる濃度です。

自然の小川の改修、農薬などの影響と共に、合成洗剤がメダカを追いやる原因の一つにもなっているのです。

せっけんは水環境にでると、水の中のカルシウムと結びついて、カルシウムせっけんになりますが、このカルシウムせっけんは、微生物によって分解されたり、小魚によって食べられたりして、自然に消滅していきます。ですから、日本の川や海ではせっけんの残存量は検出されないのです。

(出典:環境チャレンジブック「はて・なぜ・どうしてクイズせっけんと合成洗剤」)

~ ~ ~ ~ ~ ~ ~

手賀沼スカイフェスタ2010のチラシを配布します。

~ ~ ~ ~

お元気ですか?酷暑もやっと終わりそうですね。根戸新田のかかしは、さつまいも畑で、10月まで立っているようです。ご覧ください。



せっけんのこと もっと知ろう！

～講演と実験を通して～

日時	平成22年11月15日(月) 13:30～16:00
場所	千葉県消費者センター・ホール(南船橋徒歩12分)
参加費	無料 先着100名(直接会場へ) 開場 13:00
講演	「せっけんは環境にも身体にもやさしい！ 暮らしに活かそう石鹸の良さを」
講師	長谷川 治氏(太陽油脂(株)家庭品部 部長)
実験	合成洗剤とせっけんの違い・歯磨き、皮膚実験
主催	千葉県消費者団体連絡協議会・千葉県

環境省のP R T R法(特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律)で指定されている合成洗剤と、せっけんについても一度、しっかり知って見ませんか。あなたの疑問にも答えます。

あなたは狙われている・悪質商法にかからないために 千葉県消費者団体連絡協議会による寸劇

オレオレ詐欺や各種の悪質商法は相変わらず続いています。どんな手口なのか、どこに気をつければいいのか、どうしたら引っかからないかをわかりやすく、楽しく、寸劇等でお伝えします。

次回予告

平成23年1月17日(月)13:30～16:00 千葉県消費者センター・ホール
講演「免疫力をつける生活～きれい社会の落とし穴」藤田祐一郎氏
その他

千葉県消費者団体連絡協議会は、県内9の消費者団体が連携し、住み良い社会を作るために活動しています。あなたも一緒にしませんか。

